

1. 評価結果概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成 21 年 1 月 7 日

【評価実施概要】

事業所番号	0772100616		
法人名	株式会社 エコ		
事業所名	グループホーム みなみ		
所在地	〒969-1204 福島県本宮市糠沢字南箕内102-3 (電話) 0243-44-1051		
評価機関名	NPO法人福島県シルバーサービス振興会		
所在地	〒960-8043 福島県福島市中町4-20 みんなゆうビル302号室		
訪問調査日	平成20年12月2日	評価確定日	平成21年1月13日

【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 13 人, 非常勤 2 人, 常勤換算	15 人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての 1 ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	9,000円(2月~10月) 12,000円(11月~3月)	
敷金	有() 円 ● 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	● 有(19,950 円) 無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,200 円	

(4) 利用者の概要

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	5 名	要介護2	3 名		
要介護3	9 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.2 歳	最低	77 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	国保白岩診療所 西山歯科医院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設3年を経過し、管理者を中心に職員が一体となって地域に根ざしたグループホーム作りに取り組んでいることがわかる。近隣の住宅との距離が離れていることもあって、地域連携のための情報等を収集し、事業所情報を伝えるなど運営推進会議を有意義に活用している。利用者の表情は明るく、笑いを交えながら楽しそうに会話に興じている姿が印象的である。職員は利用者と同じ目線を同じに保ちながらコミュニケーションを図っている。リビングには季節感を取り入れクリスマスツリーが飾られ、利用者が撮影した行事の写真なども貼られ、居心地のよい和やかな雰囲気が感じられる。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善事項である独自の理念をつくりあげ、職員は理念を共有し実践に向けて取り組んでいる。災害対策としての備蓄も整備され、2階非常階段の手すりも両側に設置し、全て改善に向けた取組みがなされている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全員で行い、管理者が総括、評価し職員に周知している。また、取り組みの事実を明確にし確認している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5)
	運営推進会議は定期的に開催し、会議内容も充実している。地域住民の意識改革も含めた介護保険制度の活用等についての話し合いもなされている。地域性から介護の社会化に対し、抵抗もみられるとのことで、委員の代表に学識経験者等の委嘱を検討している。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	定期的に、利用者の様子や行事の写真や載せた手作りの事業所だよりや医療機関の受診記録を送付している。また、金銭管理も適正に行なわれており、領収書を添付し確認を得ている。意見箱の設置や法人としての意見苦情対応窓口を設置し、意見や要望等を真摯に受け止め、運営に反映させるよう努めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	町内会に加入し、事業所主催の行事への呼びかけや、また地域の文化祭等へも参加し相互の交流に努めている。夏休み体験ボランティアとして中学生を受入れ、利用者の外出の付き添いをしてもらうなどお年寄りとの触れ合いの場を提供している。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	前回の指摘に基づき、地域密着の精神に基づいて作り上げた理念に沿って、四季折々に地域の人たちとのふれあいを大切にしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の名札の裏側に理念がプリントされており、全員が理念を共有し利用者支援に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の催事には積極的に参加し、事業所側の行事も公開して、地域住民の協力と理解を得ながら交流に務めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価については職員全員が取り組み、サービスの原点に立ったケアが出来ているかを反省しながら作成している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、事業所の情報を開示し、理解を深めており、委員からの支援が得られるような会議となっており、率直な意見交換が行われている。ただ、議事録からは外部評価内容の報告は見られなかった。		地域性から介護の社会化に対し、抵抗もみられるとのことで、委員の代表に知見者としての学識経験者等の委嘱を検討している。外部評価の結果を報告し、意見を求めることが必要である。
6	9				
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面会に訪れる家族に普段の生活ぶりを説明している。また、毎月の出納帳のコピーや領収書を添付して、利用者の近況、受診結果などを送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族との面会時には、意見や要望を言いやすい雰囲気作りに配慮している。また運営推進会議でも忌憚りの無い意見が述べられている。なお、意見箱を設置しているがまだ意見等は無い。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人も含めて職員が一体となり極力異動や離職のないように取り組んでいるが、止むを得ない場合には、管理者が新旧の職員の間立って利用者へのフォローを最優先に考えて行っている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所に送られてくる各種の研修情報を的確に選択し、職員を参加させ、スキルアップに努めている。研修に参加した職員は報告書を作成し、全員に報告して、情報の共有に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人運営のグループホームとの交流や研修会を通しての情報交換は行っている。しかし、他法人運営のグループホームとの相互訪問等の実際的な交流等は行っていない。	○	他の同業者への視察研修や実践的な交流を行なうことにより、サービスの質の向上に役立つものと思われる。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)	/		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の生活歴・経験などを丹念に聞き取り、残存能力に沿った作業や趣味を生かした支援に努めている。カメラを得意とする利用者が撮影した四季折々のスナップや季節を問わず童謡を毛筆で書いたものが各ユニットのリビングに飾られており、利用者が作品に対する意気込みを話してくれており、職員も学びながら共に支え合っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の日常生活行動から思いや意向を感じ取り、また、家族等からの情報も取り入れながら、意向の把握に努めている。日常的なコミュニケーションを大切にし、利用者の意向に沿った支援に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意向を取り入れた計画となっており、同意も得ている。利用者や家族の希望を踏まえ、ケース会議の中で職員全員で話し合い、個別・具体的な計画作成に努めている。		援助内容については優先順位の見直しが必要と思われるところが見られるので検討を望みたい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画作成している	期間内に見直しを行っており、利用者の状態変化に対しては、主治医や家族等と話し合い、適時見直しを行なっている。ケース会議の中で検討しながら現状に即した計画の見直しを行っている。		介護計画の見直しの際、モニタリングシートを活用して行っているが、ケアプランに基づくサービスの実施状況を介護記録から確認することが見直しの根拠となると思われる。そのため、具体的なサービス内容の記録が精度を高めることになるとと思われる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)	/		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との連携を密にし、職員による通院介助を基本的に行なっている。往診による受診者もいる。		協力医療機関との連携は重要であり、利用者の急変時の医療的な対応について円滑な協力を得られるよう、近距離にある協力医療機関との連携を図ることが必要である。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療連携体制に向けて体制を整えているところである。重度化と終末期の対応指針を作成し、利用者の同意を得ている。現在職員間で看取り対応等についての理解を深めているところである。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーを尊重し誇りを損ねないよう言葉遣いにも十分留意したり、個人情報保護に関する法令順守に努めている。職員からも採用時に誓約書をとっている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者は明るく自由に過ごしており、職員は利用者の会話に耳を傾けながら、ペースにあわせて支援している。身体や気分を見ながら、買い物や散歩など声かけをし、出来るだけ希望に添うよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮引き、枝豆もぎ等調理の下ごしらえ、後片付けなど利用者の力量に合わせて行っている。職員も利用者と一緒に食事の楽しみを共有している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の時間帯は基本的には決めているが、利用者の要望に合わせて入浴支援を行うよう努めている。入浴を好まない方には清拭や職員を変えるなど工夫しながら支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	利用者の希望や得意なことを把握し場作りをしながら支援している。特に写真が好きな方が撮影した行事の写真リビングに飾るなどしている。外出する際には利用者の希望を優先し、行事に取り入れている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	大型店への買い物や外食、散歩等出来るだけ外出の機会を設けるよう努めている。自然環境に恵まれているため、外気浴をしながらお茶を楽しんでいる。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員がさり気なく見守り一緒に行動するなどし、日中は鍵はかけていない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防計画により、定期的に災害時を想定し避難訓練を実施している。また、夜間想定訓練を実施している。食糧や水、簡易トイレ、ガスコンロ、毛布も整備されてある。地域消防団との連携についても働きかけを行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活チェック表により一人ひとりの食事量や水分量を把握し、日々のバイタルチェックを行っている。またそれらの情報を職員間で共有し、利用者の状況に応じて支援方法を工夫している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく清潔感のあるリビングでは、常に談笑や歌声が聞かれ、職員も一緒になってゆったりとした雰囲気でも過ごしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者それぞれの好みが活かされた居室になっている。利用者の中には趣味の写真を編集したりし、自分の時間を有効に過ごしている様子が窺われた。		

※  は、重点項目。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホーム みなみ

記入担当者名 渡邊 徳人

評価結果に対する事業所の意見

特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。